

セグメント別の概況

Food Business || 食品事業

食品事業におきましては、既存の主力商品(オレンジキャップ、ライトタイプ、グリーン)を中心として、ブランド訴求の販売企画提案による営業を強化するとともに、昨年9月に発売した日清オイリオグループ株式会社との共同開発商品「ピエトロドレッシング『BOSCO』」の拡販に取り組んでまいりました。

また、第2の主力商品と位置づけております「ピエトロのスパドレ」、「ピエトロパスタソース」などのパスタ関連商品、通信販売限定のプレミアム商品(ピエトロファーマーズシリーズ)についても販売強化を図ってまいりました。

上半期は、主力商品が量販店のPB(プライベートブランド)商品との競合により苦戦したものの、下半期は、営業本部による戦略の見直しとその実行体制の強化に加え、小売店頭におけるきめ細かな営業活動を展開したことにより、食品事業全体として前年の売上を上回りました。

しかしながら、上半期の販売の伸び悩みの影響が大きく、年度通期の売上高は44億28百万円(前期比1.5%減)となり、さらに、コスト面で原材料仕入価格の高止まりとともに、新商品拡販に向けた販売促進費の増加により、営業利益は10億96百万円(前期比17.5%減)となりました。



PIETROFARMERS || ピエトロファーマーズ



ミルクジャム



蟹と蟹みその本格トマトソース

Restaurant Business || レストラン事業

レストラン事業におきましては、グランドメニューに加え、季節感あふれるフェアメニューやランチメニューなど、多彩なメニュー展開を推進してまいりました。また、ご来店いただいたお客様に対する「お客様感謝キャンペーン」の実施やレストラン店頭販売の拡充など、お客様の来店動機につながる店舗運営に取り組んでまいりました。

また、お客様のニーズにお応えするため、直営レストラン2店舗を新規に出店いたしました。

しかしながら、景気の先行き不安感などを背景として、消費者が外食を手控える傾向が強まり、郊外店を中心に来店客数が減少し、売上高は40億46百万円(前期比5.2%減)となり、一方、コスト面で販売促進費の効率化は果たせたものの営業損失は1億70百万円となりました。

店舗推移

	(単位:店舗)			
	平成20年3月末	増加	減少	平成21年3月末
直営店	33(1)	2(-)	-(-)	35(1)
FC店	53(1)	4(1)	9(1)	48(1)
合計	86(2)	6(1)	9(1)	83(2)

※()内は、内数で海外店舗数

Other Business || その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの一部テナントの退去により、売上高は1億75百万円(前期比16.3%減)、営業利益は95百万円(前期比20.8%減)となりました。



ピエトロイオンモール筑紫野店
●所在地/福岡県筑紫野市立明寺434-1
イオンモール筑紫野156-1
●電話/092-918-3138

売上構成比

